

中国山東省済南市訪問

2012年6月26日

中国 山東医学高等専科学校出張講義『山東島津放射線技術教育講座』

出張先：中国山東省済南市

山東医学高等専科学校

出張者：京都医療科学大学医療科学部放射線技術学科 助教：松本圭一

出張期間：2012/5/5～2012/5/12

出張報告：放射性医薬品を体内に投与して画像化する核医学検査に関する講義を日本語で行い、山東医学高等専科学校医学撮像系の李萌 教授に翻訳していただきました。講義の概要を表1に示します。約100名の学生さんが聴講してくれました。女子学生数は本学と同程度で3割程度でした。学生さん達は恥ずかしがりながらも活発に質問してくれました。中には本学の学園祭や、日本への留学に関する質問もありました。

また、訪問初日には秦敬民 校長、王宇 副校長先生らに歓迎会を開いていただき、本学との定期的交流の有益性を再確認しました。秦校長や李教授からは、"日本の医療内容や最新の検査技術などを紹介していただき大変勉強になる"と評価して頂きました。人生初の訪中でありましたので、一度は訪れてみたいと切望していた万里の長城にも足を運んできました。写真1、2および3は、それぞれ講義初日(受講学生)、学校正門前(李萌 教授と)、万里の長城(八達嶺から)でのスナップ写真です。

表1. 講義の概要

1. 日本の診療放射線技師とチーム医療
2. 放射線の種類と核医学検査に用いる放射線
3. 核医学検査のメリットと安全性
4. 放射性医薬品の種類と体内動態
5. 核医学検査装置と撮像方法
6. 臨床核医学検査(脳血流シンチグラフィ、心筋シンチグラフィなど)



写真1. 講義初日(受講学生)





写真2. 学校正門前（李萌 教授と）



写真3. 万里の長城（八達嶺から）